

全員協議会会議録

- 1 日 時 平成31年2月15日(金)
13時30分開会 13時55分閉会
- 2 場 所 役場3階第2委員会室
- 3 出席議員 深沼達生・川上 均・山下清美・中河つる子・鈴木孝寿・高橋政悦
佐藤幸一・西山輝和・口田邦男・中島里司・奥秋康子・桜井崇裕
議長：加来良明
- 4 事務局 事務局長：佐藤秀美、係長：宇都宮学
- 5 説明員
(1) 教育長からの申し出事項
町長：阿部一男、教育長：三澤吏佐子
総務課長：田本尚彦、学校教育課長：神谷昌彦、給食センター所長：石津博徳
- 6 議 件
(1) 教育長からの申し出事項
・御影小学校ソリ学習送迎におけるスクールバス事故について
(2) その他
- 7 会議録 別紙のとおり

加来議長：全員協議会を開催する。議件については報道で承知のとおりと思うが、12日に発生した御影小学校ソリ学習におけるスクールバスの事故について、教育長から申し出があったので全員協議会を招集した。さっそく議件に入る。

(1) 教育長からの申し出事項

- ・御影小学校ソリ学習送迎におけるスクールバス事故について

加来議長：最初に教育長からあいさつと概要説明をお願いする。

三澤教育長：本日は御影小学校ソリ学習送迎におけるスクールバス事故について報告したく、全員協議会を開催いただき厚く御礼を申し上げます。加来議長をはじめ、議員には大変多忙のところ集まっていた心より御礼申し上げます。去る2月12日に発生した御影小学校1学年、2学年の合同のソリ学習に係るスクールバスの送迎中の交通事故に際しては、乗車していた児童はもとより、保護者、家族、引率教職員並びに対応いただいた御影小学校教職員に多大なる迷惑、心配、心痛をかけた。心よりお詫び申し上げますとともに、怪我をした皆様に謹んでお見舞いを申し上げてきた。議員、町民にも大変心配をかけた。お詫び申し上げます。この度の事故について、発生の一報を受けてから、教育委員会としては即座に事故現場、病院、御影小学校等に職員を向かわせ、当該学校をはじめ関係機関の協力のもと、乗車していた児童、引率教職員の安否確認をはじめ、事故の情報収集に努めるとともに、諸般の対応をしたところである。2月13日の夜には御影小学校の体育館に保護者に集まっていたご説明会を開き、意見等も承った。事故発生当初は情報も錯綜しており、全ての保護者の心に沿うような対応ができなかったことも事実である。それらの意見、保護者の思いを真摯に受け止めている。今後は怪我をした皆様の1日も早い回復を祈るとともにスクールカウンセラーの派遣をとおして心身ともに大きなショックを受けた児童の心のケアにも最善をつくしている。このことについては期限を切ることなく、子どもが元気に回復するまで対応を続けたいと考えている。更には、今回の事例で得た問題点をスピード感を持って検証し、今後に生かすとともに、スクールバスの運行に際して事故の再発防止に万全を期するとともに、一層の安全運転の管理、徹底により安全運転に努めるよう指揮監督をするので何とぞ理解を賜るようお願い申し上げます。事故の概要について課長から説明をする。

加来議長：事故の概要について教育課長に説明をお願いする。

学校教育課長（神谷昌彦）：事故の概略について申し上げます。配付資料に基づいて説明をする。事故の発生は2月12日（火）の11時51分頃。発生場所は芽室町高岩南6線の交差点ということで、2枚目に図面を添付している。スクールバスは下側の美生市街のほうから国道のほうに向かって進んでいるところ、相手側の車が高岩南6線を右から来たところで、出会いがしらの衝突となっている。事故の発生状況については、御影小学校の1、2年生がソリ学習を行った帰りに、相手方に一時停止標識ありの町道において、相手方の車が一時停止をしないで交差点に進入してきた。その車がスクールバスの運転席右側側面に衝突した反動でバスが路外に逸脱した。このことについてはまだ双方からの事情聴取も終わっていないということで、状況は確定していないと警察から言われている。事故の状況については3枚目に写真を掲載している。これが事故当時の状況ということで写真を4枚掲載している。用務はメモロスキー場でのソリ学習。バスに乗車していた参加者は、御影小学校の1・2年生37名、引率の教員5名、運転手1名の計43名。事故後の12時過ぎに教育委員会に連絡が入り、給食センター職員1名と、学校教育課職員2名が現場に急行した。そこで現場と病院での対応を行った。そのほか連絡調整担当1名を御影小学校に派遣した。負傷者は、相手の運転手を含めて44名全員が病院に念のため搬送されている。当初は4か所の病院ということで、厚生病院、芽室病院、開成病院、北斗病院に搬送するという情報が消防から入ったが、後ほど芽室病院と開成病院の2か所に搬送すると連絡を受けた。芽室病院には児童7人、先生2人の9人が搬送されている。児童1名が頭痛を訴えていたので公用車で北斗病院に保護者と搬送したが、検査の結果異常なしであった。芽室病院は全員検査のあと、特に異常はないということだったので、公用車で御影小学校に帰ってきている。12時50分に御影小学校に到着し、迎えに来た保護者と帰宅している。開成病院は児童30人、先生3人、運転手1人の34人が

搬送されている。全員検査を受けて若干頭を打ってCTを受けた方もいるが、特に異常はないということで検査終了後代替のスクールバスで御影小学校に16時に帰ってきている。その後迎えに来た保護者と帰宅している。相手方の運転手は厚生病院に搬送されている。怪我の状況は、児童は右足甲付近ヒビ1人ということで、これは事故当日には分からなかったが、昨日再度病院にかかったときに検査をした結果分かった。そのほか事故当日唇の裂傷が2人、鼻血を出したのが2人、そのほか打撲ということで、それぞれ個人差があり、訴えている方もいるが少なからずほとんどの子どもが何らかの打撲をしているのではないかと。先生については口の中を縫合した方が1人、打撲が4人ということで、5人全員が何らかの怪我を負った。バスの運転手は腰椎圧迫骨折で現在入院している。先ほど教育長も申し上げたとおり、2月13日(水)の19時から御影小学校の体育館で保護者説明会を開催した。事故の状況について説明し、いろいろ意見をいただいた。あわせて帯広警察署の交通担当の方が来て、今後の事故の対応について説明をいただいた。かなりショックを受けている子どももいるということで、十勝教育局よりスクールカウンセラーを派遣している。昨日1回目のカウンセリングが行われた。この後、来週も2月20日、21日の2日間にわたり開催予定。その後も必要に応じて日程調整をして取り組んでいきたい。今後の補償についても今日の午前中、相手方の保険会社と協議をして進めている状況。事故の状況としては以上。

加来議長：質疑を受ける。何かあるか。

口田議員：非常に大変なことだった。たまたまうちの孫も乗っていた。今説明を受けた対応についても非常にスムーズに行われたのではないかと。心配だったのはバスの定員の問題。バスの定員をオーバーしそうではないかという感覚を持ったが心配はないのか。

給食センター所長(石津博徳)：定員は運転手を含め45名のバス。

鈴木議員：スムーズに対応されて、基本的には良い対応だったのではないかと。中には連絡が遅かったと言う保護者もいる。2月13日に行われた保護者説明会の議事録等をもし提出できるのであればそれも合わせてどのようなクレームが来ているのかを知りたい。

学校教育課長：議事録という報告はある。出た内容は1つは連絡が遅かったということ。ネットですぐにニュースが流れてしまっただけでその後に連絡が来たということで、学校から緊急メールで流したが、最初は病院も4か所と言われて途中から2か所が変わったり、怪我の状況もあって情報が錯綜したということもあって、学校としても誤った情報を流しては余計に混乱するのではないかと。幸い怪我が軽いという状況もあったので、ある程度確定してから流したという状況でお叱りを受けた。それと、やはりこういった緊急事態なので緊急メールではなく電話で連絡するべきではないかという意見もあった。メールだと確認が遅くなってしまう状況があるので、きちんと電話等で速やかな連絡をする必要があるのではないかと。これについてはまだ翌日だったのでなかなか検証もできていなかったということで、今後十分に今回の教訓を生かしてスムーズに対応できるようにしていきたいと回答した。大体内容はそういった状況。

鈴木議員：時系列でいくと、1時過ぎに1回目のメール、そのしばらく後に電話が来たという話。ただもう12時過ぎの段階で道新か勝毎のウェブ版には出ていたという話。情報がなくて親御さんがどうしているか分からないからとりあえず学校に向かうという話になっていた。その反省を踏まえて今後どうしたらいいかということを検討してほしい。

学校教育課長：その辺についても保護者説明会のときにたくさんいただいた。今回情報が錯綜したということもあるので、事故がないことが当然だが、あった場合は速やかに対応できるように十分検証したい。

加来議長：鈴木議員、議事録はないが報告書はあるそうだが今必要か。

鈴木議員：参考までにぜひ見せていただきたい。

加来議長：後日でもよいか。

鈴木議員：よい。

中島議員：たまたまこの日所管事務調査をしていた。連絡が入った時点でそれぞれ職員を派遣した。学校教育課の調査は10時からで、事故の時間と重ならなかったが、もしそういうことがあったらぜひ中座して最優先で対応していただきたい。今後の対応についても何らかの指針をつくるだろうから含めてもらえればと思う。

三澤教育長：ありがたい言葉をいただいたが、こういう事故のときには最優先で対応させていただくいろいろなことについて整備をしたい。

西山議員：こういうときは、個人情報がすごく妨げになって、病院で子どもたちの怪我の状態を聞くといっても 40 人もいて対応する先生が 4 人しかいなくて、どんな状態なのか聞くにもなかなか教えてくれないとか、妨げになるものが結構あるのではないかと思うがどうか。

学校教育課長：事故の報告があった後、学校から教頭とほかの先生も給食だったのでパンと牛乳を持って駆けつけ、両方の病院に分かれて対応した。保護者から、心配で病院の状況はどうかと聞くときの連絡がなかなか上手く取れなかったという意見があったので、その辺については今後十分検討したい。

桜井議員：警察から指導というか言葉があったということだが、その部分についての説明をお願いします。

学校教育課長：警察からは、あくまでも相手側に一時停止はあったけれどもそれが無視なのか滑ってきたのかということは状況だけであって、両方から事情聴取もできていないから、確定したことは申し上げられないという状況であった。警察から説明があったのは、これは人身事故になるということで、その辺の手続き等についての説明があって、それぞれ保護者の名前や連絡先といった書類の作成ということで説明があった。

鈴木議員：たしか公用車には全台カメラがついていると思うが、スクールバスにもついていてそれは警察に提供しているのか。

給食センター所長：昨日警察が来てコピーして持って帰った。

鈴木議員：こちらで中身は確認しているのか。その中では大体ここに書いてあるとおりの、そのまま交差点に進入してきているように見えるというかたちで把握しておいて良いか。

学校教育課長：よい。

加来議長：スクールバスはまだ新しいようだが、何年前のバスで、今後代用はどうするのか。

給食センター所長：平成 27 年 1 月の登録であり、現在は 4 年ほど。今後は保険対応等の状況も待っているところだが、現在はマイクロバスを借り上げて運行している。

加来議長：入れ替えや買い替えも起きる可能性があるということか。

給食センター所長：検討しているところ。

加来議長：その他に質疑等はあるか。

(なしの声あり)

加来議長：質疑がないようなので、これで議件を終わる。休憩する。

【休憩 13:55】

(執行側退席)

【再開 13:55】

(2) その他

加来議長：その他何かあれば受ける。

(なしという声あり)

加来議長：事務局からもないので、以上で全員協議会を終わる。

【終了 13:55】